

新成人の皆様ならびにご家族の皆様方に心よりご祝福申し上げます。

【法人事務局】

近畿ブロック二〇〇九年度魅力ある小規模事業所

づくり研修会報告

十二月二十三日(祝)に近畿ブロック二〇〇九年度魅力ある小規模事業所づくり研修会が開催されました。

この研修会は、小規模作業所が法律の変遷に伴い様々な事業を展開するようになりましたが、元々の独自性や地域性の良さを継承しつつ、より充実したものとなるようにと毎年開催されています。

今年度は、『小規模にこだわると小小さくてもまあまあ小さくても必要 小小さくてもすこい』というテーマでした。まず、日本NPOセンターの田尻佳史氏の『各地で活躍する小小さくても元気なNPO』と題した基調講演がありました。

各地で活発な活動を展開しているNPOとはどういう組織運営をしているのか、という講演でした。

まず面白かったのは「ミッションのあり方」です。個人的なPassion(思い)から活動が始まって、それがサークルから組織へと形成され多くの人が関われば関わるほど、また年数が経つほどその団体のMission(使命)が分からなくなってくる。何のために始めたのか?何のために組織はあるのか?すると、個人個人の思いだけで動いてしまい、組織としての一体性がなくなり、同時に外部に対しての発信力も弱くなる。そうならな

いたために、組織として何をやるのか等を確認する必要があるとのことでした。また組織は人で成り立っているもので、固定化すれば行き詰まる。上手く人を入れ込むことで新しいアイデアが生まれ、新たに成長できるとのお話でした。

次に「人や組織のあり方をどう考えるか?」について。組織内では、ミッションに沿った事業運営を行うために計画・執行面の責任者である理事、事業運営の執行者である事務局、ミッションに共感して、組織を資金面・実働面で支える会員、という役割がある。この役割分担がきつかりとできており整備されている組織がより良い事業をしていける。また、会員がどんどん減っていくということがよく聞かれるが、会員にも役割を持たせ活動の一端を担っているという意識を持つてもらうことで、その減少をくい止められるとのことでした。こうして、組織の内をしつかり固めてこそ良い事業を行って

いけるし、地域に貢献できるのではないかと感じました。

午後にはシンポジウムが行われ、事業移行した小さな事業所が、利用者の方たちに安心して過ごしてもらうために

課題や目標を設定し、一つずつクリアしていくパワーには驚かされました。今回は、改めて組織の原点やあり方などを考えさせられる研修会でした。

【法人事務局】

大阪市育成会知的障害者

ガイドヘルパー養成研修

のお知らせ

知的障害者ガイドヘルパーの養成研修を開催します。

- ・ 開講日：平成二十二年二月二十七日(土)・二十八日(日)及び実習日一日
- ・ 費用：一般 一万二千元、学生 一万元
- ・ 申込期間：二月二十二日(金)より二月十五日(月)まで

【お問合せ】大阪市育成会事務局、又は大阪市育成会ホームページ内の「研修・催事の案内」にてご覧下さい。



親子レクリエーションの開催

- 日時 二月六日(土) 十時から十五時まで

- ところ 舞洲障害者スポーツセンター

- 参加費 親子一組につき 千三百十円

- 持ち物 療育手帳・上靴(親子とも)・タオル・飲み物等

- 締切り 二月一日(月)
- 申込 育成会事務局まで

レクリエーション開催

「くれよん」のご案内

「ボウリング入門パート5」

- 日時 二月二十日(土) 十三時から十四時半まで

- ところ 新大阪イーグルボウル

- 集合 十二時四十五分

- 参加費 一人 二二〇〇円

- 持ち物 療育手帳

- 申し込み 二月十八日(木)まで。定員二十名